



長岡市長 小林孝平

新年の挨拶

市民のみなさん、明けましておめでとございます。
みなさんが一挙揃って、健康で明るいとしをお迎えになりましたこと、心からお喜び申し上げます。早いもので、私も市長に就任してから二度目の新年を郷土で迎えました。私は、この新年にあたって、長岡市がさらに明るく住みよいまちに飛躍するには、何が必要であるかを、じっくり考えてみました。

ところが、答えは以外にも簡単でした。
スポーツにたとえと、ジャンプするためには日頃のトレーニングを積みかさねる基礎づくりが大切であるように、市政もまた、基礎がしっかりしていなければ飛躍はあり得ない、ということでした。そこでことは、市民のみなさん



新年の挨拶

長岡市議会議長 大森茂樹

んと共に、市政発展への基礎づくりについて、しっかりと考えてまいります。市民の一人一人が、自分たちの問題としてどう考えるか、どうや

つていったらよいかを、卒直に私にお話しただけならと存じます。幸い、みなさん方のご協力により、市政は順調に進展をみていますが、ことは、さらに、みなさん

んと共によく考え、行動に移すこと、すなわち「考える市政」によって、責任ある、自信のある仕事を積極的に進め、長岡市将来の道への基礎づくりを成し遂げてまいりたいと存じますので、どうぞ、あたたかいご支援とご協力をいただくようお願い申し上げます。ここに、みなさん方のご多幸とご健康をお祈りいたしまして、新年の挨拶いたします。

市民のみなさん、あけましておめでとございます。
輝やかしい昭和四十三年の新春を迎え、まずもってみなさんのご清福とご繁栄を心からお喜び申し上げます。

当長岡市は、昨年あらゆる行政面で大きく伸展することができました。市民のみなさん、あけましておめでとございます。この基礎に

のみなさんのご努力と市政に対するご協力の賜にほかならないのでありまして、ここに衷心より感謝申し上げる次第であります。
このように、「住みよいま市の生活」を目標に、私も議会人も微力ながらその職責を果たしてまいりたいと存じます。今後、一段と市勢の伸展をはかり、市民生活の安定を期するためには、前途におおきな問題が山積されておるのであります。

市には、昭和四十年四月一日に定められた市道認定基準があり、この基準には、一級市道と二級市道以外の農道などの二級市道があります。
一級市道は、車両の増加、積荷時の交通確保および

計画的な宅地造成を

道路は六メートル以上に

市では、都市計画の上からも、この点について検討を加えていますが、とくに、宅地造成、区画整理をする場合、道路はせむ、六メートル以上の幅員をとるようお願いします。

市では、都市計画の上からも、この点について検討を加えていますが、とくに、宅地造成、区画整理をする場合、道路はせむ、六メートル以上の幅員をとるようお願いします。

市では、都市計画の上からも、この点について検討を加えていますが、とくに、宅地造成、区画整理をする場合、道路はせむ、六メートル以上の幅員をとるようお願いします。

市では、都市計画の上からも、この点について検討を加えていますが、とくに、宅地造成、区画整理をする場合、道路はせむ、六メートル以上の幅員をとるようお願いします。

ことしは明治100年 記念行事などを計画



ことしは、明治改元の100周年にあわせて、記念行事や協賛行事をどうするか計画をたててまいります。
この記念行事は、少なくて百回をふりかえって、先人の業績をしのび、その遺産と教

農協の合併進む 組合員の利益をはかるため

組合員の利益のため、また、経営基盤の強い農協にするためなどの目的から、かねてから話が進められてきた農業協同組合の合併は三月、日を目標に、実現する運びとなりました。
これは、昭和三十六年十月に「農協組織整備協議会」、さらに昭和三十一年には「合併研究会」、またその後、「特別委員会」が設けられた結果、合併の構想がまとまったものです。
この構想によると、市内の農協が一本化され、あらたに、事務を統括する本所が設けられますが、いまの農協事務所は、そのまま事業所として「組合員の農協」をモットーに運営され、将来の発展が期待されるものです。

明治百年物語

長岡城軍門 城下の戦い

七月二十五、六日 この日西軍主力は下条方面にあつて長岡市中の兵力は数百に過ぎず、高野、福島方面の銃砲音を自軍の進軍開始と思つて、中にも早や決死の長岡軍は勝手知った町に奮勇の様に突入して来た。
不意を襲われた西軍は夜明けに案内の市街を各所に散走、参謀山に立て、妙見方面へ、と声を測らした。間に合はず、舟着き場川を背に土壘を築き必死の反撃を我が奥山、小島の二隊に加え、維之助又自ら隊旗を揮つて戦いに西軍の潮を押し、刺傷者も舟も間に合はずに自決する者など、此処草生津土壘附近は敵軍に堪えなかつたといふ。
一方、下条の西軍主力は前後に敵を受け死傷の甚だしく、城門から新町口へ加えて来た。八丁沖を獲つて渡つて以来、休む間もなく、疲弊其甚に達している我軍は

お年玉
おだいなお金だ、むだづかいはしないぞ。
病氣
おなかをこわすと大変だ。ごちそうもほどほどにしよう。
少年相談は 補導センターへ
少年補導センターでは、少年たちに関するいろいろな問題の相談に応じています。
皆さんのご家庭では、子どもたちが学校や仕事をなまけ、悪い友だちと遊ぶようになった、態度や服装が乱れてきた、反抗したりうそをいうようになった、などというようなことはありませんか？
こんな時は、早いうちによく指導してやるのが大切です。
センターでは、皆さんからのご相談には、秘密を守りながらお力添えをしていますので、早めにお出かけください。

冬休みを有意義に
いま、子どもたちにとっては、楽しい冬休み中ですが、学校の手をなれた子どもたちは、とかく金銭的にも時間的にもルーティンになりがちです。この機会によい本を読ませるとか、健康なからだづくりをさせるとかして、子どもたちがこの休みを有意義に過ごすように指導してください。
なお、正月はおなかをこわしたり、かぜをひいたりしがちです。食べ過ぎや夜ふかしはつしんで、家族皆さんで楽しい正月を過ごしましょう。

外出時間
夜の外出は、小学生は六時まで、中学生は七時までとしよう。
家の人といっしょの時でも、十時までは家に帰ろう。
夜ふかしはからだをこわすもとだ。早めに寝よう。
朝の学習時間
小学生は、九時までは友だちを呼びに行かないようにしよう。
中学生は、十時までは学習時間だ。朝のうちにがんばろう。
服装
小学生は、名札(バッジ)をしっかりとつけよう。
中学生は、スキーなどに出かける時以外は、制服制帽で行動しよう。
生徒手帳は、いつももって出かけよう。
飲食店の出入り
家の人といっしょに行こう。
街頭での立食いはやめよう。
映画・演劇
○学校で許可された映画以外は、家の人といっしょに行こう。
スキー
○川や谷など、あぶないところはすべらないようにしよう。
○スキー場へは、なるべくおとなの人といっしょに行こう。
○かせなんかひかない元気なからだをつくらう。



厚生会館前(旧二の丸)の長岡城跡碑

三岡市之進指揮の下、死傷続出した。下の喚声(現新町郵便局上手)に退いた。この時、応援に駆けつけようとした維之助は左胸に銃弾を喰ひ、鮮血の中につれた。止むを得ず夕暮と共に城内に撤退した我軍は大破した神田口御門(東坂之上長岡藩角附近)に土壘を積み、雨雲の銃砲弾、敵の砲火の中で最早これ迄と最後の時を待った。初秋の冷気身に浸る夜半大雨の中、雷鳴轟き新町東町界隈町表町通り、近くは観光院町界隈に燃え上った火は余燼天を焦し、懐かしき光景であったといふ。
しかし、午前七時頃、漸く敵を破つた我が本道軍押切方面から進入の急報が届き、則せずして蘇生の喚声上がり、八時我が由良大砲隊を先頭に米沢会津の諸軍統々入城しここに全く長岡城を回復するに至つた。
この奪回戦を当時の資料は「打返し」「お取返し」そして立見屋(本町二丁目)当座帳は「牧機入返し」と伝えている。
町の人びとの喜びは失つた父母に再会したかの様で、町の各所には思い／＼に酒樽を、菓子屋は菓子魚屋は魚をとり出し、何時とはなしに「盆だてがんに……」の長岡音句となつたといふ。紅屋(表町一丁目)で出した大樽の銘をなめながら、十九才の稲葉弥太郎(この四日後片田で戦死)が父又兵衛と再会した話も今に伝わっている。横吉之丞はこの喜びを会津若松の君公に伝えるため、早稲脚となつて八十里の道をひた走つた。
文・写真は大島一夫さん(前町二)提供

広域都市の実現

施設にもこの考えを

戦前は、自治体の仕事に県民や市民が直接参画する機会が少なく、住民と自治体の仕事にへだたりがありました。ところが現在では、自治体の住民一人一人が自分たちの問題として、市政や県政をどう考えるか、どうやったらよいか、を決める仕組みになっていきました。そこで、「新しい年の市政にひと言」と題して、市政モニターのみなさんからお話しをおききました。

ごみ、チリのないまちへ

市長 私は、常日ごろ、施設や設備は金があればできる。しかし、それをいかに市民のものとして活用するか、ということを考えております。もとより、市長一人だけの力ではすべての解決は不可能ですが、私は、市長就任以来、数回にわたって市の事務機構を改善し、市民の声が市政に反映し、さらにその声が市民のみならず、市民に直接もどるよう積極的に努力してまいります。幸い、徐々ではあります。着実にその成果があらわれ、市政も順調に進展してまいりますが、これもみなさん方の日ごろのご協力によるものと、心から感謝いたしております。さて、今日は、ご多忙のところお集りいただき大変恐縮いたしておりますが、長岡市政、とくに新しい年を迎える市政に對して、みなさん方がどんなことを期待しておられるか、どんなことを望んでおられるか、思いつくまお話し合いをお願いします。願いたいと思います。

市政にひと言

最近、ビニールの包装袋が多く出ていますが、新市域では、この袋の処理に困るといわれています。この下流では、専門の人夫を雇って処理する現状です。新しいごみ焼却炉もできたことですから、ごみ収集を逐次、新市域にも伸ばして欲しいと思います。

まちをきれいにする運動を推進して欲しいと思います。この場合、各家庭、子ども会、ホイスカウトなどが揃って参加できる日を毎月一回もうけて、ごみやチリを長岡のまちから追放してはどうでしょうか。

ごみ収集後のあと仕末が悪いと思えます。これは、ごみを出す方も注意しなければならぬと思えますし、市でも、広報、立札などで周知をはかってください。

ごみ処理については、ごみ焼却炉などの施設充実ももちろん大切



市長 ごみ処理は市政全般からみても最重要に取りあげられる問題として、現在では新しい焼却炉もでき、そのよりよい運営につとめてまいります。みなさんのご意見に近づけるよう努力したいと思っております。市民運動は、やはり、盛りあがる市民の手で……というご協力をお願いします。

緑のまちづくりへ

まちから樹木が少なくなっていますが、まず、学校単位で植樹を進めてはどうでしょうか。これはやがては、緑のあるまち、につながると思えます。

市民自身の問題でもありますが、ことしこそ、アメリカシロヒトリが長岡市から追放されるよう期待します。

アメリカシロヒトリは、なんといっても市民ぐるみで退治しなければ効果ありません。背の高い樹木などでもあきらめないで、みなさんが工夫して、せめて自分の家のまわりだけでも植樹していただければ、実地の研修を受けさせるのもよい案だと思えます。

また、市の職員を民間会社に派遣して、実地の研修を受けさせるのもよい案だと思えます。

市長 さきほど挨拶のなかでもふれましたように、行政効率を高めることは、市長就任以来の私の念願であり、日本一能率のよい市役所にすることを目標にしています。職員をパートなどにやってみることも考えられますが、まず電話応待の研修を専門家に依頼して行うことにしています。事務改善については、庁内に「事務改善委員会」をつくらせて研究してまいります。今後は、一般市民きだと思えます。

市長 文化財の保護については、専門家の意見もとり入れて、しっかりやっていかないとはいけません。風致問題、宅地造成問題については、いままでも手放してはいたのですが、今後も十分検討いたしたいと思えます。

人づくりに努力を

(必要な安全教育)

正しい歩行、正しい運転を呼びかけても、交通事故はふえる一方です。安全施設、とくに横断歩道橋を多くつくってほしいと思います。

歩道橋ができては、渡る人があつたとしても、これは、めんどうだから、とか、群衆心理によるものと考えられますが、要は、安全教育が欠ける

交通安全は、駅前や商店街では大へん混雑しています。交通安全のためにもぜひ、市の駐車場をつくらせてほしいと思えます。

横断歩道橋は、危険の多い箇所から実施することになっていりますが、今後、建設省とも十分連絡をとります。また、社会教育面

日本一の市役所へ

市役所の窓口対応は、最近、好感をもって迎えられるようになってまいりますが、さらに、職員の適性指導と、事務の合理化に努めて欲しいと思えます。

行政事務の効率化をはかるため、民間会社と比較検討して、よいところを積極的に取り入れたらどうでしょうか。

また、市の職員を民間会社に派遣して、実地の研修を受けさせるのもよい案だと思えます。

市長 さきほど挨拶のなかでもふれましたように、行政効率を高めることは、市長就任以来の私の念願であり、日本一能率のよい市役所にすることを目標にしています。職員をパートなどにやってみることも考えられますが、まず電話応待の研修を専門家に依頼して行うことにしています。事務改善については、庁内に「事務改善委員会」をつくらせて研究してまいります。今後は、一般市民きだと思えます。

市長 文化財の保護については、専門家の意見もとり入れて、しっかりやっていかないとはいけません。風致問題、宅地造成問題については、いままでも手放してはいたのですが、今後も十分検討いたしたいと思えます。

新しい年の

正しい歩行、正しい運転を呼びかけても、交通事故はふえる一方です。安全施設、とくに横断歩道橋を多くつくってほしいと思います。

歩道橋ができては、渡る人があつたとしても、これは、めんどうだから、とか、群衆心理によるものと考えられますが、要は、安全教育が欠ける

交通安全は、駅前や商店街では大へん混雑しています。交通安全のためにもぜひ、市の駐車場をつくらせてほしいと思えます。

横断歩道橋は、危険の多い箇所から実施することになっていりますが、今後、建設省とも十分連絡をとります。また、社会教育面

自然を大切に



風致を守ることは大切なことで、山の峻険は天と地の境といわれるほど雄大さが望まれています。市としては、なんとか手を打つべ

無計画な宅地造成により、緑と致を生かしたやり方で、市民や外客がもつと自然に親しむことが、さるよう努めて欲しいと思えます。

東山、西山の開発には、とくに人間の魂にふれるような風景として、多くの人たちに親しまれていく馬高遺蹟や三十稲場(関原地内)など、貴重な遺蹟がこわされる心配があります。文化財保護の施策を期待します。

道路の舗装、改良などは、先を見越して実施して欲しいと思えます。たとえば、消費パイプや電話線布設のために掘り返すことのを期待します。

水不足や悪路の追放

毎年、工場などで水不足に悩んでいるようですが、将来的な展望にあって、ぜひ、この解消をはかってください。

市長 昨年の十一月、水道事業五年計画にそって、妙見町に新浄



市政モニター座談会

出席者

- 星野 博 長塚 廣弘
- 片桐伊佐雄 中山吉多郎
- 安藤秀爾 永井スミ
- 水沢忠一 今村千代子
- 山口一郎 永戸吉野
- 今井正一 大北英代子
- 吉沢新平 高田徳子
- 小杉恭司 一市 剛
- 本間正三 小林市長
- 神谷 復 江口収入役
- 清水省吾 丸山市長参事

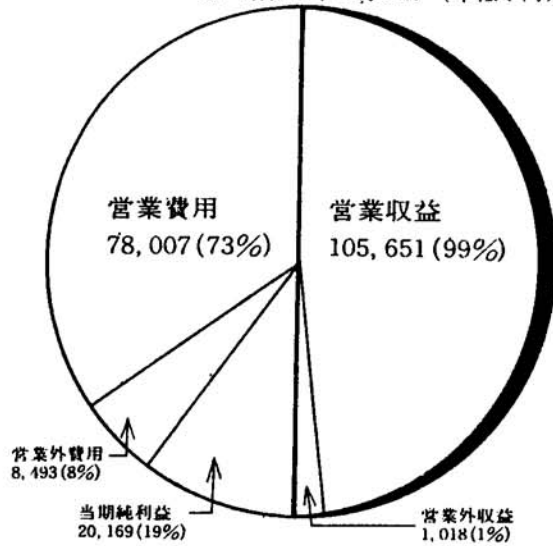
また、出席されなかったモニターのみなさんからは、随時通信によるご意見を採用させていただきます。

発言内容に表現の不足があった場合はお詫びいたします。

(十二月七日 互尊文庫で収録)

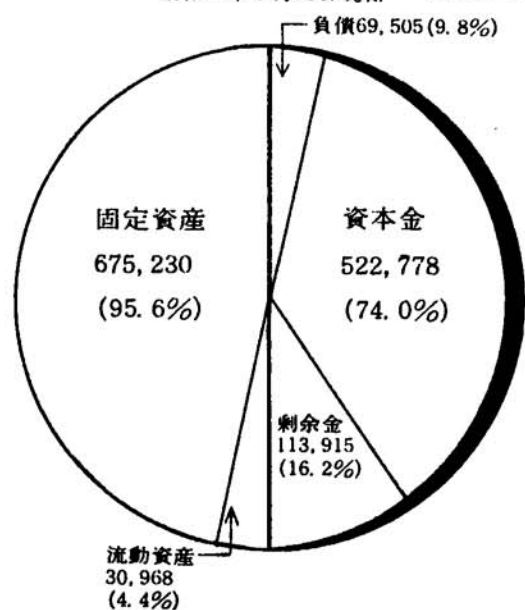
昭和42年度上半期長岡市
水道事業損益計算書

自 昭和42年4月1日
至 昭和42年9月30日 (単位千円)



貸借対照表

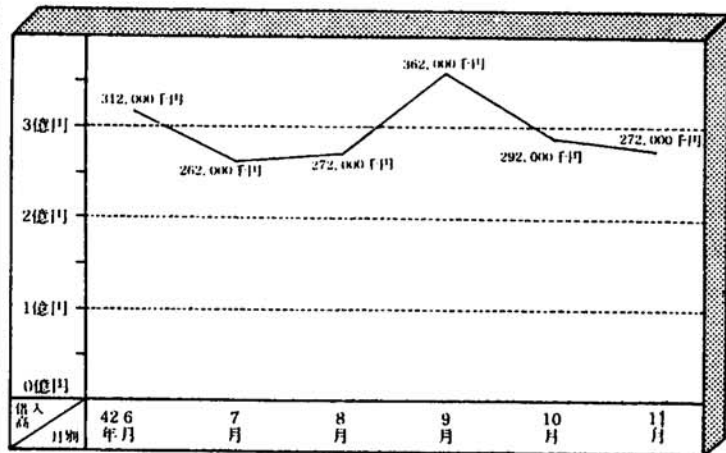
昭和42年9月30日現在 (単位千円)



昭和42年度 財政事

長岡市告示第30号
長岡市財政事情公表条例に基づき、本市の財政事情を次のように公表します。
昭和42年12月16日 長岡市長 小林孝平
このたび公表するのは、昭和42年11月30日現在の一般会計および特別会計の執行状況と、昭和42年度上半期水道事業の経営状況などです。
一般会計の予算規模は、昨年度(昭和41年11月30日)

一時借入金月別現在高の状況



市の財産(土地・建物)

区分	土地	建物		計
		木造	非木造	
行政	4,079	43	4,987	5,418
政	85,800	11,505	3,734	15,239
財	1,364,176	138,074	67,766	205,840
産	86,244			
小計	1,540,299	150,010	76,487	226,497
普通財産	120,680	4,678	16,376	21,054
山林	175,245			
小計	295,925	4,678	16,376	21,054
合計	1,836,224	154,688	92,863	247,551

情報の公表

現在)に比べ、24パーセント、7億2,280万4千円の伸びとなり、現在までに歳入57パーセント、歳出61パーセントを執行いたしました。なお、今年度建設をする予定の建て物のうち、ごみ焼却炉、互尊文庫、郷土史料館などは、すでに完成をみております。
以下本市の財政事情を公表などご説明いたしますが、今後も明るく、住みよい長岡市をつくるために、健全な財政運営に努めたいと思います。

市債現在高

(市債とは、道路、学校、住宅等特定の事業を行なうため政府等から借入る資金です。)(単位千円)

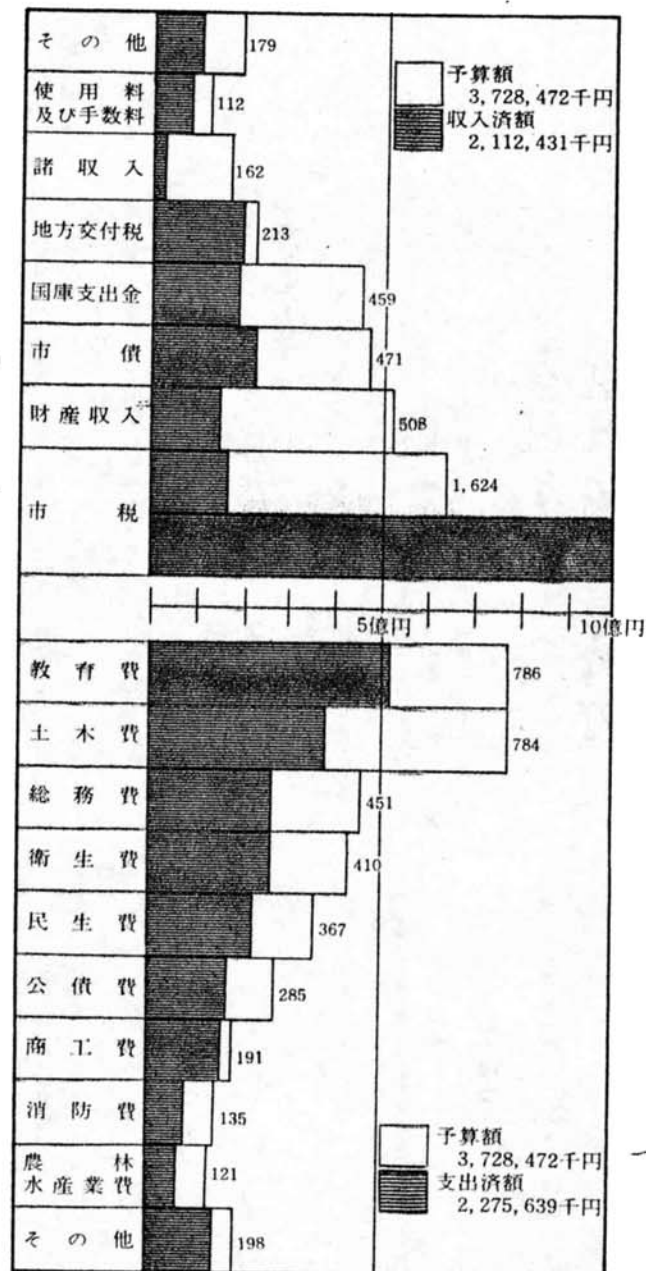
区分	充ての目的	昭和41年度末現在高	昭和42年11月末現在高			増減率
			発行額	元償還額	差引残高	
土木債	都市計画及び消防施設等	664,782	22,000	17,384	669,398	27.1
教育債	小中学校建設事業等	625,259		14,024	611,235	24.7
災害復旧債	災害復旧事業等	93,484		2,926	90,558	3.7
衛生債	ごみ焼却場及び火葬場建設事業等	96,298	52,000	3,394	144,904	5.9
職災復旧債	職災復旧事業等	46,140		4,490	41,650	1.7
商工債	国債併合建設事業等	59,655		859	58,796	2.4
下水道事業債	下水道事業等	80,069		702	79,367	3.2
簡易水道事業債	簡易水道事業等	58,635		706	54,929	2.2
と畜場事業債	と畜場建設事業等	43,628		3,084	40,544	1.6
市場事業債	卸売市場事業等	45,000			45,000	1.8
転貸債	厚生年金住宅建設事業等	27,297		397	26,900	1.1
減税補てん債	市民税減税の補てん	408,612	118,700	20,032	507,280	20.6
その他		118,921	4,000	20,235	102,686	4.1
合計		2,364,780	196,700	88,233	2,473,247	100

特別会計の予算と執行状況

(42. 11. 30現在) (単位千円)

会計名	歳入		手帳に対する収入割合	歳出		手帳に対する支出割合
	予算額	収入済額		予算額	支出済額	
国民健康保険	497,855	336,382	67.6%	497,855	284,551	57.2%
公益質屋	3,675	2,860	77.3	3,675	1,630	44.6
と畜場	30,503	13,911	45.6	30,503	18,547	60.8
下水道	85,439	13,591	15.9	85,439	53,526	62.6
簡易水道	20,725	9,837	47.5	20,725	10,541	50.9
復興土地区画整理	5,753	6,163	107.1	5,753	4,292	74.6
卸売市場	139,711	1,000	0.7	139,711	130,243	93.2

一般会計の予算と執行状況



(注) グラフの頭数値は予算額です。単位百万円

■富内中学校
校舎の整備、とくに特別教室の整備を主に工事が進められ、昭和43年3月に完成します。
本年度事業費 14,864千円(単年度事業費)
内 容 鉄筋3階建校舎

■上川西小学校(昭和42年~43年)
学校校舎の整備事業の一環として、木造から鉄筋校舎へ改築することになり、第一期工事が昭和43年3月に完成します。
本年度事業費 30,875千円
総事業費 96,902千円
内 容 鉄筋3階建

■市営住宅(稲葉団地)
住宅難を解消するため、稲葉町に市営住宅を建設しました。
本年度事業費 29,079千円(単年度事業)
内 容 第2種簡易耐火構造平家建1棟4戸連続建

■郷土史料館(昭和41年~42年)
幾多の遺品や大切な文化財など貴重な歴史的資料を一覧に展示する史料館が、昭和42年10月30日に完成し、今春、開館の予定です。
本年度事業費 45,467千円
総事業費 59,520千円
内 容 鉄筋コンクリート造

■互尊文庫(昭和41年~42年)
市民の文化発展に役立つ、市民教養センターとして、北信越随一を誇る規模で、昭和42年10月31日に完成しました。
本年度事業費 62,233千円
総事業費 81,114千円
内 容 鉄筋コンクリート造3階建、一部4階建

■ごみ焼却機械炉(昭和41年~42年)
生活様式の急変と衛生思想の普及によってよえるごみを、完全に焼却できる焼却機械炉が昭和42年11月4日に完成し、1日(24時間)90トン処理します。
本年度事業費 74,613千円
総事業費 106,410千円
内 容 鉄筋コンクリートおよび鉄骨造地下1階地上3階

